

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 28 年 6 月 24 日現在

機関番号：32636

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25284073

研究課題名(和文) 琉球・中国言語文化交流史の研究 『琉球官話課本』と『琉球入学見聞録』の比較考証

研究課題名(英文) The history of cultural exchange in the field of language, between Liuqiu and China-Comparative studies on "Ryukyu Mandarin texts" and "Liuqiu ruxue jianwenlu"

研究代表者

瀬戸口 律子 (SETOGUCHI, Ritsuko)

大東文化大学・外国語学部・教授

研究者番号：90054858

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 7,900,000円

研究成果の概要(和文)：3年間にわたる共同研究の成果として、それぞれ研究分担者が研究課題と深い関わりのある論文を公表している(3～4頁を参照)。その結果、これまでとは異なる観点から一步進んだ論究を実現することができた。

この報告書は中間的なものであり、今回の共同研究の完全版ではない。各人が発表した論文は昨年度実施した科学研究費補助金報告会での口頭発表の内容を基礎としているが、論文作成にあたっては、スタッフ以外の研究者や専門家の意見及び見解も参考にした。また、研究開始当初から『琉球入学見聞録』の翻訳作業に着手している。一部未完成の部分を残しているが、今年度末迄に完成版を冊子として印刷製本し、関係者各位に配布予定である。

研究成果の概要(英文)：Through 3 years of our joint research activity, all the members of the research made their theses public (see page 3-4). The contents of such theses are closely related to the main theme of the said joint research, and the approaches were made from various standpoints. This is an interim report, and the thesis of each member is based on the verbal presentation made respectively at the meeting held last year in the occasion of announcing the "Grants-in-aid for Scientific Research", and in the process of making these theses, opinions from researchers and experts were widely adopted. We have also been engaged in the translation of "Liuqiu ruxue jianwenlu" from the beginning of our joint research activity, and although some unfinished portions still remain at present, we plan to complete the works in a printed book form, and distribute them to the persons concerned by the end of this year.

研究分野：中国語学

キーワード：東アジア圏 言語文化 琉球 中国

1. 研究開始当初の背景

(1) 本研究は二つの科学研究費プロジェクトを背景としている。平成9年度に完成した「琉球官話課本の研究」(研究代表者:瀬戸口律子。基盤研究(C)・課題番号:08610462・1996 - 1997)と平成17年度に完成した「日中・琉中对音資料による中国語音韻史の総合的研究」(研究代表者:丁鋒・基盤研究(C)・課題番号:14510499・2002 - 2005)である。両プロジェクトの研究実績はそれぞれ後に瀬戸口律子『琉球官話課本の研究』(榕樹書林・2011年・総261頁)と丁鋒『日漢琉漢對音與明清官話音研究』(中華書局・2008年・総480頁)として出版された。

(2) 上記2件の基盤研究の成果を踏まえた上で、さらに北京国子監教官の潘相が当時の文献や琉球人留学生(官生)からの聞き取りを混じえて編纂した『琉球入学見聞録』を研究し、比較考証を加える。それは琉・中言語文化交流の分野にとどまらず、広く現在の中国語研究にとって貴重な材料となり得るテーマである。

2. 研究の目的

(1) 本研究は研究代表者瀬戸口律子による琉球官話課本の研究成果を土台としている。中国語史上における口語資料として注目される「琉球官話課本」の言語及び内容と北京国子監教官の潘相が著した『琉球入学見聞録』を比較しながら、琉球と中国の言語文化交流史の側面と近世琉球社会の実態を浮かびあがらせることが研究の目的である。

(2) 研究代表者の瀬戸口律子は中国語学及び中国語教育学を専門分野として、研究分担者の丁鋒は中国音韻学、原瀬隆司は中国語方言学、小塚由博は明清時代の筆記や古典小説、上里賢一は中国古典文学・琉球漢詩、赤嶺守は琉・中歴史学、金城ひろみは中国語教育学を研究している。各自の研究分野を活かしながら共同研究を実施し、正史と異なる面からのアプローチも試み、当時の社会及び琉球と中国の人々の交流を掘り下げるように努めた。

3. 研究の方法

(1) 『琉球入学見聞録』の翻訳を実施するにあたり、大東文化大学側と琉球大学側のグループに分けて着手した。

大東文化大学側の翻訳作業役割分担は以下の通り。

瀬戸口律子(研究代表者):「星土」「祀法」「賢王」  
 丁鋒:「封爵」「土音」「字母」「誦声」「奏疏」  
 原瀬隆司:「爵禄」「田賦」「制度」「兵刑」「稟給」  
 小塚由博:「序文」「総目」「凡例」「採用書目」「風俗」「書籍」「奏疏」

琉球大学側の分担者は以下の通り。

上里賢一:「星槎」「官生」「芸文」  
 赤嶺守:「星槎」「教規」「芸文」  
 金城ひろみ:「謹度」「答問」「芸文」

巻四の芸文(漢詩文)については、琉球大学グループが担当し、平成26年度から隔週ごとに赤嶺守研究室で研究会を開いて議論を進めながら、上里賢一が取りまとめを行っている。

(2) 大東文化大学と琉球大学で共同研究会を開催して共通認識を深めるとともに、研究分担者が講演や論文・学会発表を通して社会に向けた発信に努める。(平成27年12月12日に公開シンポジウムを大東文化大学で開催)

3年間にわたる共同研究の成果の一部として『琉球入学見聞録』の訳注を冊子として印刷製本する。

4. 研究成果

(1) 共同研究の成果としては、各人が研究課題に沿ったテーマで論文や学会発表を行っている。

(2) 『琉球入学見聞録』については、今日まで訳注本が出版されていない。琉中交流史関係の資料としてはよく採り上げられる書物であるが、その具体的な内容や構成、言語についての研究はほとんど見られない。訳注本の完成により当時の官生の北京での生活や様子、日常生活の中の琉球と中国の交流が鮮明にクローズアップされるものと期待される。役割分担は下記の通りである。

前書き 瀬戸口律子  
 解説 上里賢一  
 訳注  
 序文・総目・凡例・採用書目 - 小塚由博  
 巻一 封爵 丁鋒  
       錫賚 原瀬隆司  
       星土 瀬戸口律子  
       星槎 上里賢一・赤嶺守  
       謹度 金城ひろみ  
 巻二 爵禄 原瀬隆司  
       田賦 原瀬隆司  
       制度 原瀬隆司  
       祀法 瀬戸口律子  
       兵刑 原瀬隆司  
       風俗 小塚由博  
       土音 丁鋒  
       字母 丁鋒  
       書籍 小塚由博  
       誦声 丁鋒  
       賢王 瀬戸口律子  
 巻三 奏疏 小塚由博・丁鋒  
       稟給 原瀬隆司  
       師生 瀬戸口律子  
       官生 上里賢一

教規 赤嶺守  
答問 金城ひろみ  
巻四 芸文(漢詩文) 上里賢一・赤嶺守・  
金城ひろみ  
後書き 小塚由博

5. 主な発表論文等  
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 12件)

原瀬隆司、蘇州方言語彙 音響学的研究を中心として、語学教育フォーラム、査読無、31号、2016、3 - 118

上里賢一、久米三十六姓と明倫堂、チーシンブー、査読無、7号、2016、29 - 54

小塚由博、作為劇本家の余懷 - 以交遊關係爲中心 -、2015年明代文學思想與文學文獻學術研討會暨(籌)明代文學學會第十屆年會論文集(戯曲小説巻) 査読無し、巻号なし、2015、327 - 337

上里賢一、琉球漢詩の舞台、琉球大学法文学部・台湾大学文学院国際學術交流シンポジウム 琉球中国関係国際學術會議論文集、査読無し、巻号なし、2015、1 - 18

丁鋒、《敦煌秘笈》所收小學書殘卷考釋兩則、《語言之旅 竺家寧先生七秩壽慶論文集》、査読無、巻号なし、2015、1 - 12

瀬戸口律子、琉球国的漢文教育、民俗典籍文字研究、査読有、15輯、2015、177 - 183

小塚由博、張潮編纂の叢書について 編集状況を中心に、大東文化大学『漢学会誌』、査読無、53号、2014、143 - 183

金城ひろみ、琉球人が学んだ中国語『琉球官話集』と『廣應官話』を比較して、研究成果報告書『近世琉球社会における言語運用の諸相に関する総合的研究』(課題番号 23320140) 査読無、巻号なし、2014、131 - 137

原瀬隆司、蘇州方言における連続変調の種類について、大東文化大学紀要(人文科学)、査読無、52号、2014、135 - 145

赤嶺守、歴代宝案編集事業と档案史料、第十回琉球・中国交渉史に関するシンポジウム論文集、査読無、巻号なし、2014、63 - 89

丁鋒、漢魏六朝隋唐仏典所見「五音」一詞的使用、大東文化大学大学院『中国言

語文化学研究』、査読無、3号、2014、100 - 110

瀬戸口律子、琉球官話課本《百姓官話》与《百姓話》の比較、大東文化大学『外国語学研究』、査読無、15号、2014、11 - 15

[学会発表](計 7件)

丁鋒、琉球入学見聞録における琉漢対音について、日本學術振興会科学研究費補助金報告会、2015年12月12日、大東文化大学(東京都・板橋区)

上里賢一、『琉球入学見聞録』巻四芸文の漢詩、日本學術振興会科学研究費補助金報告会、2015年12月12日、大東文化大学(東京都・板橋区)

原瀬隆司、浮生六記について、日本學術振興会科学研究費補助金報告会、2015年12月12日、大東文化大学(東京都・板橋区)

小塚由博、清代文人の琉球に関する記録 - 王士禛『紀琉球入太学始末』及びその周辺 -、日本學術振興会科学研究費補助金報告会、2015年12月12日、大東文化大学(東京都・板橋区)

上里賢一、琉球漢詩の世界(記念講演)、東北中国学会、2015年5月30日、東北大学(宮城県・仙台市)

小塚由博、明末清初江南文人の交流状況張潮の書簡を手がかりに、日本中国学会第65回大会、2013年10月13日、秋田大学(秋田県・秋田市)

瀬戸口律子、近世琉球の外国語事情、公開文化講座・基調報告「中国語教育」 - 琉球官話テキストから -、2013年11月14日、沖縄県立博物館(沖縄県・那覇市)

[図書](計 5件)

赤嶺守 [編] 冊封使行列図、国立故宫博物院(台北)出版、2016、130

瀬戸口律子・原瀬隆司、方言と中国文化、光生館、2015、319

赤嶺守 [監訳] 華夷秩序と琉球王国 陳捷先教授中琉歴史関係論文集、榕樹書林、2014年、261

金城ひろみ [翻訳] 華夷秩序と琉球王国 陳捷先教授中琉歴史関係論文集 (第9章・清代奏摺資料と中琉関係史研究) 榕樹書林、2014、261 (239 - 253)

丁鋒、中古助紐用字及其音韻特点(黄典誠教授百年誕辰紀念文集)、廈門大學出版社、2013、508(283-294)

〔産業財産権〕  
出願状況(計 0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

瀬戸口 律子 (SETOGUCHI, Ritsuko)  
大東文化大学・外国語学部・教授  
研究者番号：90054858

### (2) 研究分担者

赤嶺 守 (AKAMINE, Mamoru)  
琉球大学・法文学部・教授  
研究者番号：20212417

丁 鋒 (TEI, Hou)  
大東文化大学・外国語学部・教授  
研究者番号：20320418

管 寧 (KAN, Nei)  
大東文化大学・外国語学部・教授  
研究者番号：70319143  
(平成25年度のみ)

原瀬 隆司 (HARASE, Takashi)  
大東文化大学・外国語学部・准教授  
研究者番号：30198907

金城 ひろみ (KINJYOU, Hiromi)  
琉球大学・法文学部・准教授  
研究者番号：30548219

上里 賢一 (UEZATO, Kenichi)

琉球大学・法文学部・名誉教授  
研究者番号：50101457

小塚 由博 (KOZUKA, Yoshihiro)  
大東文化大学・文学部・助教  
研究者番号：80571702

### (3) 連携研究者

( )

研究者番号：